

平成24年度 第4回市民活動サポートセンター運営委員会 会議概要

平成25年2月21日(木) 18:30~20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員	10名…浅羽、柏崎、河村、酒井、澤田、鈴木、永島、古田、 前川、吉田、渡辺
欠席委員	3名……根本、早川
事務局	2名……市民生活課 松尾、江南
指定管理者	1名……NPO法人YMC Aコミュニティサポート 高橋、沼崎
傍聴者	0名

1 開会

2 報告事項

[意見概要]

(1) 利用状況・利用者の声について

指定管理者及び事務局から、資料1に沿って報告した。

(指定管理者)

平成24年度1月末の利用者数は36,351名で、昨年3月末が43,263名であるので、今年度の1月末までで300名~400名利用者が増加している。

しかし、毎年、前年度より1,500名ほど利用者数が伸びていたため、今年度は伸びが少ない印象がある。多くの市民の方に使用していただきたい施設なので、来年度はより多くの人に利用してもらえるように方法を考えていきたい。

(市民生活課)

久里浜及び追浜サポートセンターの利用者数・利用団体数は、前年同月より若干数増加しているが、1月のみ減少している。

(指定管理者)

センター主催講座は、今まで改装をしていたため開催できなかったが、10月から再開しており、2月と3月で弾みをつけて来年度へとつなげたい。

印刷機の利用は前年度より増加したが、しかし、コピー機の利用は減少している。これは、近所に5円でコピーできる(カラーは30円)ところがあったことが要因の1つではないかと考える。

活動紹介コーナーの利用状況は、12月に何も予定が入っていなかったが、それ以外はほとんど利用されていた。新規団体にもっと活用していただきたいので、期待を込めて声かけをしている。

利用者の声は、老朽化した備品関係でのご意見・ご要望が多い。

(2) のたろんフェア 2013 報告

指定管理者から「のたろんフェア 2013 報告」の資料に沿って、報告した。

(指定管理者)

2月9日(土)と10日(日)に開催した。来場者数は6,304名で昨年より235名増加した。フェアへの参加団体数は昨年と同様の76団体であった。参加団体数が増加しないのは、キャパシティの問題があり、展示パネルやブースを増やせないことが原因である。

のたろんステージは昨年に引き続きショッピングプラザで行った。以前は屋外で開催されていたので参加団体が少なかったが、昨年度より屋内での開催になったので、参加団体数も増加し、一層にぎわっている。また、ユーストリーム配信を行い、録画もしているため、問合せが多く好評である。

のたろん会津若松復興応援団では、東日本大震災を受け、実行委員会として復興支援の取り組みを行ったが、会津若松市風評対策キャラバン隊のブースを設けたところ、売上げが予想以上に多く、好評であった。

参加団体は76団体であったが、当日参加できない団体にも活動紹介をしてもらう展示企画等を行ったため、結果的には100以上の団体関わっている。とても意味のあるフェアであった。

(3) 指定管理者の決定について

市民生活課から資料3に沿って、来年度からの市民活動サポートセンターの指定管理者が決定したことを報告し、指定管理者の選考方法についても併せて説明を行った。

(4) 運営委員の改選について

市民生活課から資料4に沿って、説明した。

(5) 指定管理者の月例評価について

市民生活課から資料5に沿って、市が毎月行っているサポートセンターの指定管理者の評価の仕方を説明した。

3 審議事項

(1) 市民公益活動団体について

指定管理者から前回の運営委員会以降の新規登録団体の説明があり、新規7団体中7団体を公益団体とすることが承認された。

(委員)

活動を年に何回行ったら公益なのか。

(指定管理者)

年に何回ではなく、サポートセンターに登録することで活動をさらに深めてほしいという願いを込めて公益団体としている部分もある。

(市民生活課)

公益とするならば同好会という名称はあまり好ましくないのではないかという感想を持った。

4 その他

(1) 平成25年度運営委員会開催日時について

市民生活課から資料7に沿って、報告した。

5 閉会

以上